



第45号
発行所
水見市窪938
水見市土地改良区
TEL0766(91)0083

新春のごあいさつ



水見市土地改良区理事長
水見市土地改良協会長
布子 誠剛

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。日頃から、土地改良区の事業運営に暖かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の夏は、数回にわたる局地的な集中豪雨に見舞われたことは、記憶に新しいことかと存じます。特に、八月十六日には、八月としては観測開始以来最大の一時間雨量五十五・五ミリを記録し、八月全体の降雨量としても平年値を大きく上回り、三百十五・五ミリを記録しました。幸いにも農業水利施設には大きな被害はありませんでしたが、一部に河川の氾濫等による水田の冠水被害等が発生し、収穫への影響が心配されたところがあります。

また、五位ダムからの導水量は、三百八十万九千トンで、ここ五年間で最高であった十九年に比べますと、二十万八千トンの減量となりました。これは、前述の七月後半からの断続的に続いた雨による影響が大きかったものと言えます。導水期間は終了しましたが、四月からの安定配水に備え、引き続き、各施設の

点検整備に万全を期して参りたいと思っております。

一方、工事関係では、国営造成水利施設に続き二十年度の新規事業として「基幹水利施設ストックマネジメント事業」に取り組んでいます。この事業は、県営事業で造成された水利施設等の長寿命化を図ることから、当該施設等の機能診断を基に予防保全計画を策定し、その対策工事を一貫して実施しようとするものです。今後は、県の指導を仰ぎながら策定された予防保全計画に従って適切に対応すると共に、引き続き、各施設の維持管理に留意し経費の節減に努めて参りたいと思っております。

また、今年、新規の国庫補助対象事業として大浦地区で「基盤整備事業」を計画しています。県、市にありましては大変厳しい財政環境とお聞きしますが、本事業費の予算化につきましては、引き続き、格別のご配慮を賜りますよう、関係者一同、切にお願い申し上げます。

いつの時代にあっても食料生産の要となる農地・水・環境の保全管理は、私ども土地改良区の果たすべき責務であり、その期待は益々大きくなるものと思われれます。今後とも、行政と連携しながら、農地と水利施設の保全対策と更新整備をきちんと行なうて参りますので、組合員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年を迎え、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成二十一年元旦 水見市土地改良区

- | | | |
|-------|-----|-------|
| 理事長 | 布子 | 誠剛 |
| 理事長代理 | 亀田 | 哲男 |
| 常務理事 | 國本 | 嘉隆 |
| 理事 | 廣沢 | 昭二 |
| 同 | 北村 | 孝信 |
| 同 | 原田 | 育弘 |
| 同 | 尾矢 | 公道 |
| 同 | 辻 | 善一 |
| 同 | 飯山 | 喜作 |
| 同 | 新屋敷 | 義成 |
| 同 | 小橋 | 賢治 |
| 同 | 村田 | 邦夫 |
| 同 | 大石 | 勝己 |
| 同 | 大橋 | 豊一 |
| 同 | 南條 | 重一 |
| 同 | 山外 | 一郎 |
| 同 | 上森 | 毅 |
| 同 | 扇浦 | 一男 |
| 同 | 屋敷 | 泰次郎 |
| 同 | 坂本 | 昭男 |
| 同 | 木和田 | 勝 |
| 総括監事 | 久保 | 清 |
| 監事 | 伊藤 | 一男 |
| 同 | 上野 | 一良 |
| 同 | 上野 | 達治 |
| 業務課長 | 宮村 | (順不同) |
| 管理課長 | 堀内 | 静雄 |
| 課長代理 | 守田 | 信二 |
| 他 職員 | 同 | 勇二 |



氷見市長
堂故 茂

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春の門出を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、時間雨量六十八・五ミリという観測
史上最大となる大雨が降りました。近年の異
常気象において、猛暑での五位ダムからの安定
的な農業用水の提供や、集中豪雨での十二町潟
排水機場による湛水防止などは、農業のみなら
ず広く市民生活にも安心を与えているもので、
これらの施設を維持管理されております土地
改良区に深く敬意と感謝を申しあげます。

今年、氷見市にとって、財政的に二段と厳し
い状況が見込まれておりますが、厳しい中にあ
りましても、新病院の建設や北大町地内の市
有地の利活用、小中学校の将来計画や氷見高
校と有磯高校の再編、ゲリラ豪雨対策など、市

民の安心・安全対策をはじめとする諸課題に
取り組んでまいります。

また、新しい年は、能越自動車道氷見北イン
ターチェンジ(仮称)の供用開始が予定されていま
す。昨年の東海北陸自動車道の全線開通は、本
市に観光客の増加をもたらすなど、人や物の流
れを大きく変えました。この流れをより大きく
確かなものとするためには、氷見らしさや氷見
の魅力を層高めていくことが大切であります。

とりわけ氷見の「食」は、寒ブリなどとき
との海の幸だけでなく、はさがけ米やハトムギ、
氷見牛をはじめ、さまざまな野山の幸も輝きを
増してきており、裾野の広がりや厚みがある
「食都」として成長してきました。

これからも、集落営農組織の育成や、地消地
産の二層の推進などを農家の方々や農業関係機
関と協力しながら取り組み、郷土の農産物が

氷見の魅力をより高め、「二百万人交流のまち
づくり」を大きく進展させてくれるよう努めて
まいります。

皆様方には、新しい年も、二層のご支援、ご協
力を賜りますようお願い申し上げますととも
に、ご健康とご多幸を心からお祈りしまして、
新年のご挨拶いたします。





高岡農林振興センター所長 嶋崎 秀豊

明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から当センターが実施しております農業農村整備事業や普及指導活動等の円滑な推進に温かいご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、農林振興センターは、昨年四月二日、旧農地林務事務所と旧農業普及指導センターが統合してスタートいたしました。今後とも、元気な水見市農林業の実現と魅力ある農山村の創造のために職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、七、八月を中心とした局地的な集中豪雨により、水見市におきましても農地や農道、用水路などの土地改良施設に大きな被害が発生いたしました。被害を受けられた皆様方に対し、改めて心からお見舞いを申し上げます。当センターといたしましては、市や土地改良区など関係の方々と力を合わせて、一日も早い復旧に全力を尽くしてまいりたいと考えて

いるところでございます。

一方、農業生産の面では、台風の襲来等もなく、概して好天に恵まれたことから、主力であるコメにつきましては、作柄が作況指数で「〇三」の「やや良」となったほか、品質もコシヒカリで二等比率九パーセントを確保するなど、大変良好な成績を収めることができました。これもひとえに、田植え時期の繰り下げや適期防除などに積極的に取り組んでいただいた皆様方のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

申し上げるまでもなく、土地改良施設は、こうした安定的な農業生産を支える大切な基盤となるものでありますが、近年、多くの農業水利施設が更新時期を迎えていることから、長寿命化などによる適切な機能の維持が求められております。

このため、当センターでは現在、土地改良区が管理している国営並びに県営造成施設の診断調査を行っているところであり、今年度中にその機能保全計画の策定を完了することとしております。

今後は、この計画に基づき、補修事業による施設の長寿命化が図られるよう皆様方と共に努力してまいりたいと考えておりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

また、昨今、農業の担い手不足や農村地域の都市化、混住化の進展などに伴う共働意識の希薄化により、土地改良施設の維持管理機能が低下する反面、同施設が果たす環境や防火、消流雪用水などの公益的機能が增大しており、土地改良区にはこうした状況変化に応じた新たな知識や技術の習得、役割発揮などが求められております。

どうか皆様方には、こうしたことを是非ご理解いただき、地域活動や水士里探訪ウォーク、さらには二十一世紀土地改良区創造運動の実施などを通じまして、地域に根ざした、県下のモデルとなるような土地改良区づくりを進めていただきたいと思いますよう、心からご期待申し上げます。

終わりに、新しい年が皆様方にとって実り多い幸せな一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

**第三十六回
通常総代会が
開催されました。**

第三十六回通常総代会が、平成二十年三月二十五日(火)午後一時三十分から水見市農業会館四階ホールにおいて総代六十三名出席のもと開催されました。

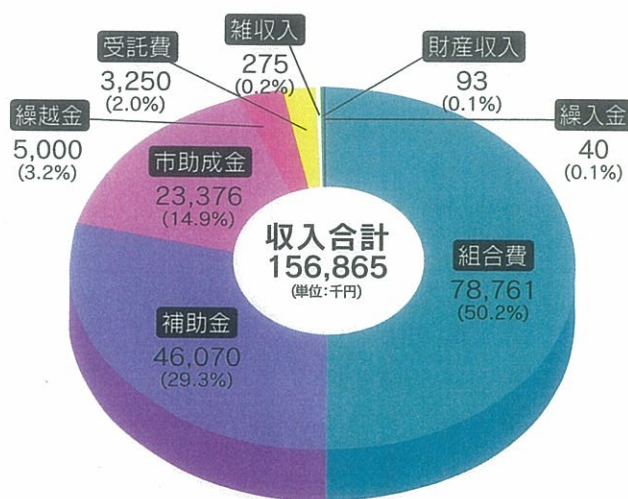
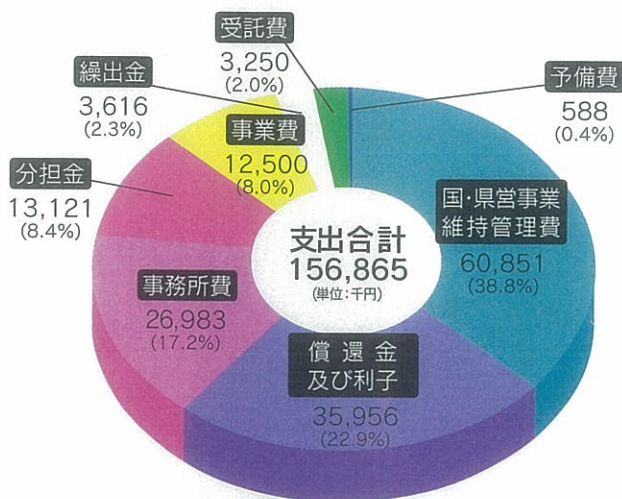
会議に先立ち、布子誠剛水見市土地改良区理事長の開会の挨拶に引き続き、水見市長代理の荒屋俊春産業部長様、長崎助秀富山県高岡農地林務事務所長様の両氏から御祝辞を頂きました。

定款の定めにより基石地区の森本成剛総代を議長に選出し、平成二十年事業計画、収支予算及び特別会計収支予算等の十三議案について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

平成20年度一般会計収支予算

(単位:千円)

本年度	前年度	比較増減
156,865	185,346	△28,481



平成20年度土地改良施設維持管理事業計画の概要

(単位:千円)

事業名	地区名	事業量	事業費
惣領支線用水路改修工事	惣領	ベンチフリーム L=220m	3,300
触坂支線用排水路改良工事	触坂	ベンチフリーム L=168m	3,500
昭和用水路補修工事	大野	大型フリーム L= 60m	3,700
島尾大池堤体止水板補修工事	島尾	ガルフシール補修 A=78.0㎡	2,000
計			12,500

平成20年度特別会計収支予算

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

(単位:千円)

本年度	前年度	比較増減
435,492	166,076	269,416

転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
70,207	112,180	△41,973

役員退任慰労積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
3,980	3,680	300

職員退職給与積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
96,088	95,300	788

基本財産積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
96,052	89,109	6,943

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

(単位:千円)

本年度	前年度	比較増減
240,216	225,917	14,299

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
40,985	41,613	△628

十二町潟沿岸管理区特別会計

本年度	前年度	比較増減
53,060	58,500	△5,440

十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
20,945	19,675	1,270

十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
14,735	13,886	849

平成二十一年度第一回臨時総
代会が開催されました。

平成二十年十一月二十七日(木)午後一時三十分から、平成二十一年度第一回臨時総代会が氷見市農業会館四階ホールで開催されました。

当日は公務ご多忙の折にもかかわらず、堂故茂氷見市長様、嶋崎秀豊高岡農林振興センター所長様並びに県、市の関係幹部の皆様方のご臨席を賜りました。

会議に先立ち布子氷見市土地改良区理事長の開会の挨拶に続き、堂故市長様、嶋崎所長様の両氏から御祝辞を頂きました。

出席総代六十三名の中から上庄地区の新井豊氏を議長に選出し議事に入り、「平成十九年度事業報告及び同収支決算について」等の五議案及び報告第一号の「氷見市土地改良区規約第三十八条第一項による専決処分について」は、いずれも原案のとおり承認または可決を賜りました。主な内容は次のとおりです。又、同総代会で行われた第一被選挙区選出の理事辞任に伴う補欠選挙では、
仏生寺四九六一番地、尾矢公道氏が無投票で当選されました。その後、亀田哲男理事長代理の閉会の挨拶があり、午後三時に閉会となりました。



慎重なご審議を賜りました
(氷見市農業会館4階ホールにて)

一般会計
平成19年度
決算

収入総額 **183,075,379円**
(前年度繰越金 8,943,567円)

支出総額 **172,649,093円**
(次年度繰越金 10,426,286円)

●収入

(単位:円)

款 項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較	
			増	減
1 組 合 費	104,248,531	106,899,000		2,650,469
2 受 託 費	1,353,500	1,470,000		116,500
3 補 助 金	35,850,000	35,850,000		
4 市助成金	30,987,694	31,300,000		312,306
5 雑 収 入	1,128,168	340,000	788,168	
6 財産収入	503,919	504,000		81
7 繰 入 金	60,000	40,000	20,000	
8 繰 越 金	8,943,567	8,943,000	567	
収入合計	183,075,379	185,346,000		2,270,621

●支出

(単位:円)

款 項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較	
			増	減
1 事 務 所 費	17,454,465	26,644,000		9,189,535
2 償還金及び利子	20,245,179	21,684,000		1,438,821
3 事 業 費	34,370,000	34,370,000		
4 国営事業維持管理費	61,312,998	60,465,000	847,998	
5 受 託 費	1,353,500	1,470,000		116,500
6 分担金及び負担金	26,201,951	28,479,000		2,277,049
7 繰 出 金	11,711,000	11,711,000		
8 予 備 費	0	523,000		523,000
収入合計	172,649,093	185,346,000		12,696,907

平成19年度特別会計収支決算

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

(単位:円)

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
166,206,000	166,202,764	166,202,764	0

転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
112,180,000	117,920,889	49,296,508	68,624,381

役員退任慰労積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
3,680,000	3,680,059	0	3,680,059

職員退職給与積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
95,300,000	93,559,817	1,400,000	92,159,817

基本財産積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
89,109,000	94,052,680	0	94,052,680

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

(単位:円)

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
225,917,000	228,799,394	0	228,799,394

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
41,613,000	42,085,761	4,425,851	37,659,910

十二町瀧沿岸管理区特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
58,500,000	60,149,376	56,116,137	4,033,239

十二町瀧沿岸管理区転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
19,675,000	20,756,616	0	20,756,616

十二町瀧沿岸管理区維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
13,668,000	13,885,464	2,550,000	11,335,464

水源林と農業用水



桑の院ため池と水源林

森林は緑のダムともいわれ、農業用水の安定的な供給や土壌の保全といった水源林として大きな役割を担っています。また、京都議定書で制定された二〇一二年までに温室効果ガス六種の排出量を約六%削減するという目標達成に向けて、森林の二酸化炭素の吸収効果が期待されています。しかし、森林を豊かにするには間伐等の森林整備が必要です。間伐を行わない暗い森では、地面に植物が生えず、降雨により土が流され、結果水を汚してしまうため間伐を行って光を差し込み下層植生を促します。すると、地中に染み込んだ水は溪流となつて流出するまでに様々な栄養をたくわえ、豊かな農業用水になります。しかしながら、森林を形成するということは長い年月を要します。農業用水水源地域保全対策事業は、こうした水源林と農業用水の関わりを地域の皆様方に理解を深めて頂き地域保全に努めるという趣旨で、平成二十年度からスタートしました。水見市土地改良区では、速川小学校の児童四、五年生を対象とした自然学習会や国営総合かんがい排水事業の水利施設の看板設置等、普及啓発に取り組みました。

- 森林の多くは水源地に位置しており、私たちの生活に大きく関わっています。しかしながら
- 一、地球温暖化防止機能
光合成によつて地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収し、炭素として固定します。
- 二、水源かん養機能(水質浄化、洪水緩和)
土砂の流出を抑えて水が濁るのを防ぎます。また、雨をスポンジのように吸収し洪水を緩和します。地中にしみこんだ水はミネラル分を吸収して豊かな農業用水となります。
- 三、土砂災害防止機能
下層植生や落ちた枝葉が地表の侵食を抑え、樹木が根を張り巡らせることで土砂崩れを防ぎます。
- 四、生物多様性保全機能
無数の動植物が生息しています。
- 五、物質生産機能
建築用木材やきのこ等の食物を生産しています。
- 六、生活環境形成機能
気候緩和、騒音防止等、快適な環境に働きかけています。
- 七、保育休養機能
森林浴等のレクリエーション機能を有しています。

普段の生活では、その関わりを直接感じることは余りない様です。国が行った調査では富山県の森を貨幣評価すると年間一・一兆円で、県民一人あたり約百万円もの恩恵を受けているそうです。豊かな水は私たちの米作りにはかせないものです。当土地改良区では今後とも本事業を活用し、地域の皆様とともに豊かな農業用水の有効利用に努めてまいりたいと考えています。

水源林のいろいろな働き



水利施設への看板設置(中谷内地区)

氷見市土地改良協会
平成二十年通常総会

氷見市と市内四土地改良区及び事業実施中の十三工区で組織する氷見市土地改良協会の平成二十年通常総会が、平成二十年六月四日（水）午後二時三十分から氷見市土地改良区二階会議室において開催されました。

同協会長の布子氷見市土地改良区理事長の挨拶の後、来賓の荒屋氷見市産業部長様からご祝辞を賜りました。会長が議長を務め、提案された四議案についてはいずれも原案のとおり承認または可決されました。

● 平成19年度一般会計収支決算

(単位:円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
1,550,000	1,438,032	1,187,233	250,799

● 特別会計

(単位:円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
3,895,000	3,902,231	457,000	3,445,231

● 平成20年度一般会計収支予算

(単位:千円)

本年度	前年度	比較	備考
1,293	1,550	△257	

● 特別会計

(単位:千円)

本年度	前年度	比較	備考
3,446	3,895	△449	

桑の院ため池・五位ダム自然学習会

去る6月26日(木)には、農業用水水源地域保全対策事業の一環としての自然学習会が、「桑の院ため池」及び「五位ダム」の現地で、速川小学校の4・5年生児童25名を対象に開催されました。

当日はあいにくの曇り空となりましたが、桑の院ため池では、地元の大上小一氏から、ため池の建設から現在までの経緯を当時の話を交えながら説明して頂きました。児童達は、このような大きな池がほぼ人力で造られた事に大変驚いていました。続いて、氷見市自然保護員の中川定一氏から、クイズ形式による桑の院ため池と周辺の動植物との関わりについての説明があり、その後、ため池に生息する生物を捕獲し、観察しました。ブラックバス等を初めて目にする児童もいる中、外来魚が生態系に大きな影響を与えていることなど様々な問題を引き起こしていることの説明がありました。

その後、五位ダムに移動し、西田光雄ダム管理事務所長代理から五位ダムの目的や構造、管理システム、氷見市への導水経路等の説明がありました。

また、氷見市に運ばれてきた水がどのように使用されているのかを、速川小学校の横にある「田江一号注水工」で、バルブ開閉操作によって学習しました。児童からは、「沢山の苦勞があつて毎日おいしいご飯を食べる事ができる」、「家の近くの田んぼで使っている水が、遠い所から運ばれてきていることに驚いた」等の感想が飛び交い、農業用水と水源林との関わりを知ってもらふ実りある学習会となりました。



魚を捕獲して観察しました(桑の院ため池にて)



五位ダムにはじめて来ました

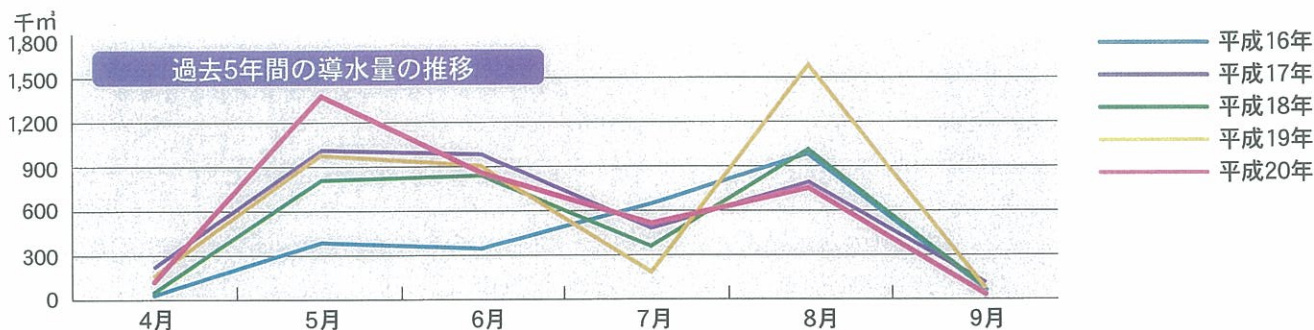
平成二十年度の導水量は 三、八〇九千³m

国営五位ダムの水利使用は、去る九月五日で終了しました。本年度の導水量は三、八〇九千³mで、前年度に比べ二〇八千³mの減(△五・二%)となりました。

これは、例年ならば使用量が跳ね上がる八月の導水量がここ五年間で最低だったことによるもので、七月下旬からの断続的に降り続いた雨による影響が大きかったと言えます。しかし、六月末時点での導水量は、降雪や年明けからの降雨量が少なかったこと等から、過去最高であった前年度実績を十七・二ポイントも上回る状況にあり、本年度は水不足が大変心配されていきました。七月後半からの降雨はかんがい用水にはプラスになりましたが、一部に湛水被害をもたらすこととなり、九月に入っても前半は雨が降り続いたため田がぬかるみ、稲刈り作業等への影響も大きかったようです。

自然を相手とする「かんがい用水」の需要予測は大変難しいところですが、引き続き、天気予報に基づくきめ細かな配水調整や五位ダムとの綿密な連携と早い段階からの対策等に万全を期したいと思えます。組合員の皆様には無駄のない有効な水使用にご協力をお願い致します。

この後、各種データの分析と整理や各施設の点検調整及び必要な修繕などを行い、四月からの安定配水に備えてまいります。



大量のゴミが流れてきます

河川ゴミの状況

十二町瀉排水機場で除去される河川ゴミの量は、年間約三十トンです。近年はグラブのとおり除去量は年々減少傾向にあります。ゴミ分別の細分化による影響からカガラス瓶やペットボトル等、中には古タイヤといった資源・可燃ゴミが増加傾向にあります。

昨年七月六日(日)には「市民一斉清掃」が実施されましたが、今後とも天然記念物のイタセンパラ等が生息する氷見市の自然環境を守る上からも、河川堤防の刈り取った草、河川近辺のゴミ処理により一層のご協力をお願い申し上げます。